舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2022.7.6 №4

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

「教育のあゆみ」をとめることなく

いよいよ今月で７０日間の長かった１学期が終わろうとしています。コロナウイルスのため可能な限りの感染拡大防止対策の中ではありましたが、振り返ってみれば、入学式・始業式・修学旅行・林間学校・校外学習など、何とか教育のあゆみをとめずにここまで来ることが出来ました。残り２週間を健康に過ごすことが出来ますよう、ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

業前活動・再開

■ Chromebook タイム

昨年度から各学校に整備されたクロームブックは、子ども達にとって文房具に替わる道具となります。ただし、カッターと同じで正しい使い方をしていかないと思わぬけがをすることになります。本校では、毎週木曜日の朝の時間を「クロームブック TIME」として設定し、子ども達の文房具となるよう取り組んでいます。この日は、甲府市教育委員会より情報化推進係の鈴木先生にご支援していただきました。

■業前体育「リズムなわとび」

毎週火・金曜日の朝の時間は「業前体育」として「リズムなわとび」に取り組んでいます。５・６年生は、昨年度経験していますので、４年生の前に位置しました。数ヶ月ぶりでしたが、体が動きを覚えているのでしょうか、どの子も音楽に合わせて軽快になわをまわしていました。

２年生は、１年生の時に取り組んではいるのですが、久しぶりなこともあって体を慣らしながら、熱中症対策もあることから、簡単な種目から少しずつ行いました。夏休みの体力つくりの一つとしても良い運動だと思います。

授業参観と懇談会

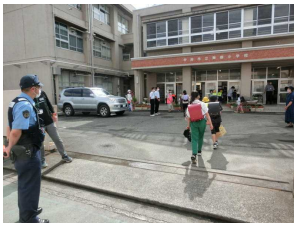
子ども達の学校での様子やご家庭での取り組み、夏休みに向けての生活など、子ども達に関わる情報交換を行うために、授業参観と学級懇談会を実施しました。授業参観は密を避けるため、２・５・６年生は体育館で学年の授業を保護者に参集・参観していただき、１・３・４年生の授業は Chromebook のリモート機能を活用して学級ごとに理科室と家庭科室に分かれて参観していただくことになりました。

授業参観に続いて行われた懇談会では、自己紹介に続いて家庭で取り組んでいること、自主学習や宿題の進め方など、様々な話題があがりました。家庭教育は、住まいや地域、同居家族など、ご家庭の環境によって一律同じとはいきませんが、情報を得ることによって自らの子育てを振り返る機会にもなると思いました。

初めての校外学習１年生

１年生は、初めての校外学習として「遊亀公園」に出かけました。リニューアルに向けて動物も少なかったですが、動物園も見学しました。帰ってきたときに、「どんな動物が良かったですか？」と聞くと、「ペンギン！」など思い思いの動物の名前を教えてくれる子ども達の笑顔がかわいかったです。

地域・小中連携あいさつ運動・再開



舞鶴小と池田小、西中は同じ西中学区として三校連携活動を行っています。継続指導の視点は「あいさつ・ききかた・おもいやり」ですが、２１～２３日には、三校が日を合わせて第１回目の「地域・小中連携あいさつ運動」を行いました。

保護者のみならず「なでしこガーディアン」や地区育成教正副会長さんなど地域の方も含め、３日間でのべ２４名の方に参加していただきました。特に今年は、コロナ禍の中ではありましたが感染症への対策を行い、西中学校から舞鶴小出身の生徒の参加もありました。参加した西中生が、同じ地域の子ども達に話しかけた心が温まる瞬間もありました。

いつも通り、駅前交番のお巡りさんも「あいさつ」と「みまもり」をしてくださり、登校してきた子ども達は、少し緊張した感じでしたが、しっかりと「おはようございます」を言うことができました。地域の方には、普段から子ども達への声かけや見守りをしていただいていますが、これからも子ども達の健全な育成のため、ご支援とご協力をお願いいたします。

下校時の熱中症対策

昨年よりも１ヶ月近く早く梅雨が明け、６月なのに最高気温が３８度近くなるなど、やはり異常気象なのかなと思えてしまいます。６月第５週は、熱中症計が「危険・厳重注意」に入ってしまう日が連続してありました。子ども達には気の毒でしたが、外で遊ぶ時間を短縮したり、外遊びそのものを中止にしたりしました。

下校については、前日から低学年の下校時刻の３時に３５度を超える暑さになることが甲府気象台より予報されていましたので、１・２年生は学童の子を除き、保護者にお迎えに来ていただくか、上の学年が下校する時間まで学校に留め置くこととしました。学校に残った１・２年生は、教室で宿題などをしながら待っていましたが、上の学年が帰る時刻になると方面別にまとまって下校となり、上の学年は低学年を気にかけながらの下校となりました。

水泳指導

■「プール掃除」

本格的な夏を迎え、体育での「水泳指導」を始めるために、６年生がプール掃除をしてくれました。「道具のない人はいませんか？」「これはどこに運びますか？」などと言いながら、どの子も一生懸命に掃除に取り組んでいました。６年生が懸命に働く姿は、とても頼もしく思えました。

■「救急法講習会」

今年もコロナ禍の中ですが、子ども達には、水の特性を理解してもらい、水難事故から自分の命を守ることが出来るよう水泳指導を行います。この日は、プール開きを前に、子ども達を水難事故から守るため、甲府市防災課の職員を講師に招いて救急法講習会を行いました。訓練が訓練で終われるよう願いながら、全職員で真剣に取り組みました。

■「プール開き」

本年度も水難事故から「自分の命を守るために水を知る」ことを目的とし、「水は重いもの、体は水に浮くもの、体を上手に動かせば泳ぐことができること」を体感できるよう「水泳指導」を行います。三密を避けるため、プールサイドには、市のガイドラインに基づき２ｍ間隔となるようペンキで待機する場所の印を付け、熱中症対策のためにテントを増設、マスクの付け外しと保管がプールサイドで容易にできるようにＳ字フックをフェンスに付けました。１年ぶりの水泳でしたが、６年生は、落ち着いてしっかりと泳ぎ初めをしてくれました。

夏休みは、安全管理の徹底が不可能なため、残念ながらプール開放を行いませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。